第 221 号
2025 年（令和 7 年）1 月 29 日発行

議会だより おおいそ

可能性は∞（無限大）

（関連記事24ページ）

12月定例会

補正予算
…６～７ページ
議会報告会
…22～23ページ

12月定例会

12月定例会は、11月28日から12月12日までの15日間の会期で開きました。

本会議初日は、専決処分５件、条例改正６件、人事案件１件、補正予算５件を審議しました。このうち、「大磯町部設置条例の一部を改正する条例」は賛成少数で否決し、その他は原案どおり可決しました。

また、最終日には損害賠償の額を定めることについて１件を可決、３件の意見書案は否決しました。

一般質問では、13人の議員が町長や教育長に行政事務についてただしました。

議案 第67号

大磯町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例

賛成多数で可決

健康保険証が原則廃止となりマイナンバーカードに一体化されるため、令和6年12月2日以降は健康保険証が新たに発行されなくなります。

それによって、個人番号利用事務である医療費助成事務において、町民の皆さまの窓口における申請負担の軽減、また、職員の効率的かつ迅速な事務処理を図るため、庁内連携により医療保険給付関係情報を取得することを目的に所要の改正を行うものです。

問 個人情報が共有されることに懸念。

答 基本は他人に見せないこと。子ども・障がい者の保護者の認識が大事。

問 カード所有の有無で手続きが変わるのか。

答 手続きは必要で添付書類の省略が可能。

問 職員の負担は。

答 職員はカードの交付事務などの業務が発生するが、申請者含め負担軽減になる。

問 庁内連携により窓口における申請等で必要なくなるものは。

答 医療費助成の手続きなどにおいて健康保険証の提示や所得証明書等の提出が不要になる。

問 情報漏えいのリスクは。

答 情報システム連携で対応し、デメリットは無い。

討論

反対

【鈴木京子議員】

医療費など集約されれば、個人情報を一元管理する9種類の保険証が存在し、リスクも増えていくことから反対する。

【鈴木たまよ議員】

懸念材料も多いが、所有の選択に個人の自由もあり、利便性を感じる町民もいることから賛成する。

賛成

【石川則男議員】

心配な面もあるが、スタートした中で問題点をどう解消していくのか、踏み切っていくことが必要なため賛成する。

専決処分の承認を求めることについて

全議案を全会一致で可決

議案第61号 一般会計補正予算（第4号）

衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の執行に要する経費について予算措置する必要が生じたため、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したことについて議会の承認を求めるものです。

補正額　1925万1千円

補正後の総額　123億9764万7千円

問　期日前投票の立会いなどで管理職が何人執行に就いたか。

答　延べ50人である。

問　衆議院選挙が急だったため、選挙公報が届くのが相当遅かったが。

答　公職選挙法上は、選挙期日の2日前までに配布が決められている。今回は神奈川県で作成したが、期日4日前の10月23日に配布された。

問　総選挙及び国民審査事業の通信運搬費の内訳は。

答　総額として149万8千円を計上している。内訳は、ほぼ入場券の郵送料で1万6千通、136万円ほど計上している。

問　投票用紙の自動交付機の台数は。

答　8台を予算に計上している。その他に、最高裁判所裁判官の国民審査の投票用紙の読取機1台、投票用紙の枚数を数える計数機4台を計上している。

議案第62号～議案第65号 損害賠償

令和6年6月、7月、9月に発生した物損事故に伴い、早急な賠償を実施するため専決処分したことについて、議会の承認を求めるものです。

倒木による物損事故　6月21日

損害額　23万4,140円

問　今回の倒木は、東海道の松並木敷の工事範囲となっていたと思うが。

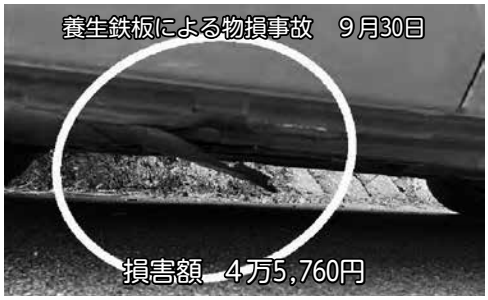
答　範囲ではない。町道大磯高麗1号線は、年間を通して樹木管理しているが発見できず、事故につながった。

問　非常に狭い私道に、大きな車を使用しての作業は必要だったのか。

答　町有地の草刈り作業で、どうしても作業上必要だった。

問　フェンスの修繕が、事故発生からすごく時間がかかっているが。

答　事務手続に時間がかかったことと、私道の共有者が8名おり、事故の状況と、修理の了解とをいただく中で修理を行ったため時間がかかった。



問　養生のために鉄板を設置したことは過去にもあったのか。

答　過去にもあった。

問　今回も注意をするなかで、事故があったということを踏まえると、今後も何らかの対応が必要かと思うが。

答　今後も同様のケースでは、鉄板で養生させていくことも考えている。より強固な形で対応を考えていきたい。

倒木による物損事故
7月9日

損害額
16万5,000円

問　倒木はどのような状況で発生したのか。

答　樹木医に現地調査を依頼した。根が非常に少なく、一部腐って倒木に至ったという診断結果であった。

問　町が契約している保険会社の次の年度の掛金については何か影響が出るか。

答　全国町村会総合賠償保険は、全国町村会が窓口になり、住民基本台帳の人口が基になるため、影響はない。

議案 第66号

大磯町部設置条例の一部を改正する条例

賛成少数で否決

子育て世代の転入を促すためには、安心して子育てできる環境づくりが急務であり、支援施策を充実させていくことが重要です。

このため、組織の一部を見直すことで、最大の効果を発揮するため、「大磯町部設置条例」の一部を改正するものです。

改正内容

「こども部」の新設に伴う町民福祉部の再編

妊娠期から青年期までの切れ目ない子育て支援などすべてのこどもと、子育て家庭への一体的な支援施策を充実させていくためにも、令和6年度に子育て支援課に設置した「こども家庭センター」の取組みを進めていく必要がある。

令和7年度にスタートする「大磯町こども計画」の取組みを推進する体制構築のため、教育委員会生涯学習課所管の「青少年関連事務」を町民福祉部子育て支援課に移行し、「こども部」を新設する。

こども部の事務分掌：

(1)子育て支援に関すること。

(2)青少年健全育成に関すること。

施行日

令和7年4月1日

問 今年度こども家庭センターを設置してから行ったことを具体的に。

答 子育て世帯に寄り添った形で相談を受け、支援を行った。

問 形を変えることで、きめ細かな支援ができる理由は。

答 1課3係が2課4係になることで、深く対応することができる。

問 人数は増えるのか。

答 1課3係から2課4係に増えるので、課長、係長が1人ずつ増える。その他、青少年関係の事務の人員が増える。

問 職員全体の260人、は増やす予定か。

答 増える可能性は十分ある。

問 参事職だけでなく課長、係長が増えることで、業務を担う若手職員の人数が少なくなり若手職員の負担が生じないか。

答 総務課とも話した中で若手・中堅職員に負担がかかることがないように、再度調整協議していく。

問 子育て相談はセンシティブな相談内容や守秘義務があるが、相談スペースが確保できるのか。

答 相談に配慮する形で配置を考えていく。

問 青少年関連を町部局に移行するメリットは。

答 「こども」という定義の中に青少年も含めて、こども部の方で一貫して対応していくことで、相談体制の充実が図れると考えている。

問 こども政策係、若者育成係はどんな業務を想定しているのか。児童虐待やヤングケアラー、引きこもり、困難を抱える若者たちはどこが担当するのか。

答 こども政策係は子どもに関する計画、児童手当などの経済的支援、子ども医療証などの内容である。若者育成係は青少年の健全育成、放課後児童対策などの内容である。こども家庭係で検診、発達支援、虐待などを担当する。

問 場所はどの辺りを想定しているか。

答 こども部については、現在、子育て支援課がある場所に配置していく考えである。

問 何故こども部の組織図を出さないのか。

答 条例の改正に特化した形で提案しているため配置図等は載せていない。

問 福祉や障害施策の担当はどこになるのか。

答 子どもに関する福祉、障害福祉は今まで通り福祉課の担当である。

問 青少年指導員の方々の意見は聞いたか。

答 賛同意見であった。

問 職員の人口ピラミッドはどうなっているか。

答 正規職員は273名である。幹部職員が75名、係長・主査クラスが45名、それ以下の職員が153名である。

問 教育委員会から移管される業務内容は。

答 青少年指導員に関する業務、成人式開催に関する業務、子ども・若者の育成に関すること、青少年の相談に関することの4点。

討論

反対

【石川則男議員】
この条例にはこども部の組織図もついていない。「こども家庭センターにはこういう問題があるから変える必要がある」など、この条例に対してはしっかり議論した上で、再度提出されるべきと思う。

【竹内恵美子議員】
今回の組織見直しを行うことで、より一層分かりにくい執行体制になるのではないか。組織全体のバランスや配置なども考えないことは、一生懸命がんばっている若い職員にしわ寄せが生まれ、さらなる若手職員の離職に、拍車がかかってしまうのではないか。

【鈴木たまよ議員】
もう少し時間をかけて問題点を洗いだして説明すべきと思う。
入れ物だけでなくしっかり中身が充実したものにするためにも、熟議というものが必要と思う。中身そして組織の在り方というものをもう一度考え直していただきたい。

【鈴木京子議員】
事務分掌を見ると町民に納得いただくだけの提案や答弁をもらえなかった。組織全体のこと、特に職員の質と量の確保が出来るか見えなかったことは残念である。

【おかみゆき議員】
行政窓口は身近な行政サービスを提供する場である。現状では人手が不足しているように見受けられる。町民の方々に向いた改正であれば、現場で働く職員などの負担軽減に向けた取組みが必要だが、現状は不十分である。

賛成

【庄子幸太議員】
こども部を作ることによって、職員数を確保していく予算づけもしていくとのことである。今後行われる町民との膝を交えた議論に期待している。

【亀倉弘美議員】
「大磯町こども計画」が進められている。現在の子育て支援課1本で子どもの政策的なことから、幼稚園、保育園、こども園の現場、そして母子保健まで扱っている状態が2課2係に編成されることで、子ども課題への対応体制としては組織だったものになると期待する。

「大磯町こども計画」ってなぁに？

「こどもまんなか社会」の実現に向けて、令和５年４月に「こども家庭庁」が発足し、「こども基本法」が施行されました。このもとで各自治体が、地域の状況に応じた「こども計画」を策定します。

こども家庭庁

こども基本法

こども大綱

少子化対策

子ども・若者育成支援推進

子どもの貧困対策

国では…
- こども基本法のもとに「こども大綱」を策定
- これまで別々に進めてきた３つの取組みを一元化
- 国のこども大綱をもとに各自治体が「こども計画」を策定

「こども」って何歳まで？
「18歳」「20歳」など特定の年齢で支援が途切れないように「こども」の定義が見直されました。
「おおむね39歳までの心身の発達過程にある者」がこどもと定義されました。

令和６年度中に完成予定

大磯町こども計画

町では…
- こどもの意見を取り入れるためニーズ調査、こども・若者・子育て当事者の”声”を聴取
- パブリックコメント実施
- 現在、福祉文教常任委員会で協議中

神奈川県こども計画

県では…
国のこども大綱を参考にこども計画（**かながわ子ども・若者みらい計画（仮）**）を策定中

議案第73号 ～ 議案第77号

補正予算

一般会計は歳入歳出予算総額に１億4,185万円を追加、国民健康保険事業特別会計は歳入歳出予算総額から68万円を減額、後期高齢者医療特別会計は歳入歳出予算総額から40万円を減額、介護保険事業特別会計は歳入歳出予算総額に843万円を追加、下水道事業会計は収益的収入と支出に117万円を追加、資本的収入と支出から544万円を減額する補正予算が提出され、全会一致で可決しました。

一般会計（第５号）の主な内容

歳　入	
民生費国庫補助金（認知症高齢者グループホームへの防災改修費支援に係る国庫補助金）	773万円
財政調整基金繰入金	１億3,400万円
歳　出	
職員給与（人事院勧告に伴う給与改正等）	１億3,546万円
財政管理運営事務事業（ふるさと納税に係る特産品、手数料等）	988万円
老人福祉施設整備事業（認知症高齢者グループホームへの防災改修支援交付金）	773万円
公園運営事務事業（高麗山緑地樹木健全度調査委託料）	153万円
学校運営事業（会計年度任用職員報酬等）	△2,245万円

金額は、１万円未満を四捨五入

令和６年度各会計補正予算

会計別	歳入歳出予算
一般会計	125億3,949万円（1億4,185万円を追加）
国民健康保険事業特別会計	32億6,640万円（68万円を減額）
後期高齢者医療特別会計	12億5,401万円（40万円を減額）
介護保険事業特別会計	31億8,803万円（843万円を追加）
下水道事業会計	収益的収入と支出 収入　10億2,144万円 支出　9億7,093万円 （117万円を追加） 資本的収入と支出 収入　9億6,582万円 支出　13億3,787万円 （544万円を減額）

再生可能エネルギー等推進事業 55万円 増

申請件数の増に伴う住宅用スマートエネルギー設備導入費補助金の増です。

問　増加した申請とは。

答　太陽光発電システムは、11月までに申請が当初見込み15件に達したため、上限額5万2千円×2件分を、リチウムイオン蓄電システムは同11件に達し、上限額5万円×5件分を、電気自動車充給電器は同3件に達し、上限額5万円×4件分を増額補正した。

問　その原因は。

答　家庭でのエネルギーコスト低減化、脱炭素等環境意識の高まり、激甚化する災害への備え等が考えられる。

歳入

財政調整基金繰入金 1億3400万円 増

財源調整による繰入金の増です。

問　繰入れ後の残高は。

答　約10億4千万円。

問　人事院勧告に伴う人件費の増額に対して交付税措置がされるとのことだが、決算時に町に入るという理解でよいか。

答　今回の人事院勧告に対する措置は、令和7年度末には調整されず、1年ズレて入ってくる形になるため、1年間は補填がない。

公園運営事務事業 153万円 増

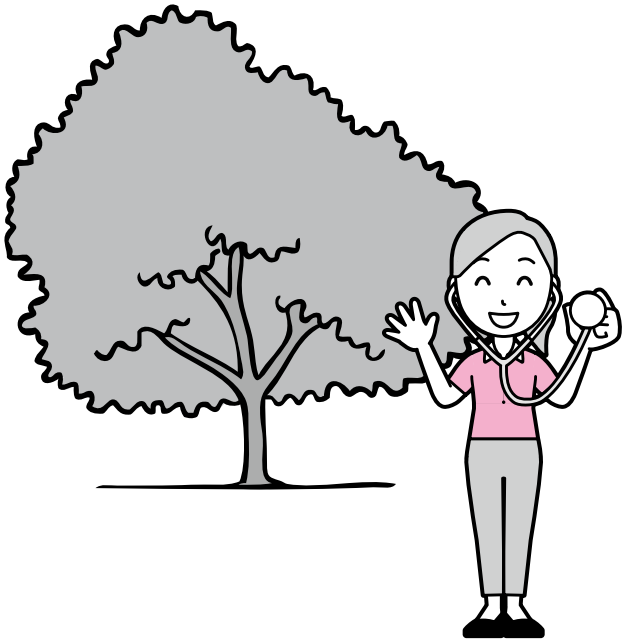
高麗山（大磯字王城山）緑地樹木健全度調査に係る委託料です。

問 議案第65号の専決処分を受けての調査か。

答 倒木の物損事故を受けての調査である。

問 どのような調査か。

答 直径15センチ以上の樹木約180本を対象に、樹木医による診断調査を行う予定。1本ずつ診断選別、ナンバリング、診断台帳作成という手順で行う。樹勢や枝の枯れ状況等を十分調査し、早急な対応が必要かどうか検証していく考え。年度内に完結させたい。



老人福祉施設整備事業 773万円 増

事業費に係る全額を国からの補助金で賄い、認知症高齢者グループホーム（GH）への防災改修費支援を行うものです。

問 GHの入所状況は。

答 認知症対応型のGH。定員18名で現在満室。

問 改修の内容は。

答 非常用自家発電設備の整備で、発災から3日間の電源確保ができるようにする。

問 当該施設は川の近くで浸水の心配もあるが。

答 災害状況に応じて、避難するか留まるか、事業者がしっかり判断していく必要がある。

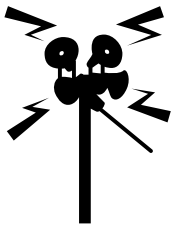
防災行政無線更新事業 限度額 4億8700万円 増

債務負担行為

令和7年度中の工期完了のため、早期発注を行うための債務負担行為の設定です。

問 現代の住宅は窓が二重三重の仕様だがきちんと聞こえるのか。

答 今回設置するスピーカーは、今年9月にテストを実施したところ問題はなかった。災害時の暴風雨等で聞こえづらいことはあるかもしれないが、現段階で最も高性能なものを予定している。



学校運営事業 △1859万円
【小学校費】 △386万円
【中学校費】 △400万円
幼稚園運営事業 減

任用実績による支出見込み減に伴う会計年度任用職員報酬等の減です。

問 職員の職種は。

答 小学校では、講師、指導協力員、教育支援員、司書、技能労務員。中学校では、心の教育相談員、指導協力員、教育支援員、司書、技能労務員。幼稚園では、保育士・幼稚園教諭、教育支援員。

問 その背景事情は。

答 小学校は講師1名の不足が大きい。また、小中共に人数は確保できたものの「扶養の範囲」等の希望により必要時間数を満たす任用ができなかった。幼稚園は、大磯幼稚園で任用予定だった保育士・幼稚園教諭1名分及び支援員1名分の応募がなかった。たかとり幼稚園は支援が必要な園児が見込みより少なかったため支援員を採用しなかった。

問 学校現場からの声はあったか。

答 教諭の補助がほしいという声はあるが、たとえば1時間だけといった働き方は難しい。子どもたちに影響が出ないような形で運営をしていただいている状況。

問 幼稚園現場に不足が生じなければよいが。

答 正規職員がカバーすることで負担や時間外手当が発生している。しっかりと人材確保に努めていきたい。

議案 第71号～第68号 議案

給与にかかる4議案一括審議

全会一致で可決

第68号 大磯町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

人事院の給与改定勧告を基に、大磯町職員の給料月額並びに期末手当及び勤勉手当の支給月数の引上げを行うとともに地域手当の支給割合、扶養手当の支給金額及び管理職員特別勤務手当の支給要件を見直すものである。

（給与は、令和6年4月1日にさかのぼって適用。ただし、会計年度任用職員は現行規定を適用。期末勤勉手当は公布日から施行。地域手当・扶養手当管理職員特別勤務手当は令和7年4月1日から施行。）

第69号 大磯町立幼稚園の教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

人事院の給与改定勧告を基に、大磯町立幼稚園の教育職員の給料月額の引き上げを行うものである。

（給与は、令和6年4月1日にさかのぼって適用）

第70号 大磯町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例

人事院の給与改定勧告を基に、特定任期付職員の給料月額及び期末手当支給月数の引き上げを行うとともに令和7年度以降の支給から業績手当を廃止し、勤勉手当の支給を行うものである。

第71号 大磯町職員の給与の控除に関する条例の一部を改正する条例

職員の給与から控除できる種別として共済組合の貸付金への償還金等を位置付けるものである。（公布日から施行）

問 人事院勧告が2.76％、大磯町は4.4％増だが、上乗せしたのか。

答 昨年度、町独自で1％上乗せしたが、今回の給料表は人事院勧告と全く同じ。大磯町は若い職員が多い関係で改定幅が大きい。

問 各種手当の支給割合が6％から12％に大幅増加したが、予算額は。

答 地域手当改定分で約7300万円。

問 配偶者の扶養手当の見直しで、影響ある人数は。

答 支給対象者は47名。

問 子どもの扶養手当で、1万円が1万1500円は一人当たりか。

答 一人当たり1万1500円。

問 高卒者・大卒者の初任給引上げ率は。

答 高卒者で12.4％、大卒者が11.9％の増加。

問 ラスパイレス指数の現状は。

答 公表数値は96.1％で、令和4年度は33市町村中28位だったが、今回は真ん中くらいになるかと思う。

問 予定通りになるか。

答 今回の人事院勧告で他市町村も対応するので、若干下の位置になる可能性がある。

問 4.4％の増とのことであるが、平均給与での金額は。

答 年間給与で631万2000円が660万5000円で29万3000円の増。平均年齢差もあるが、県が663万9000円、国が691万5000円。

問 途中退職者の理由は。

答 給与の差（地域手当の差）で移動した方もいる。今回12％と大幅増だが、16％の自治体もある。

問 改正による給与本体と手当の金額増の内訳は。

答 給与が4700万円、手当が3300万円の合計8000万円。

問 扶養家族対象者が47名いる、7000円減額は知らせたか。

答 8月8日の人事院勧告が出た時にメールで知らせた。

問 会計年度任用職員の給与は。

答 今年度、時給プラス2円から44円増額。来年度以降は、見直し時に増額。

人事院勧告とは？

公務員と民間企業の従業員の給与水準を均衡させることを目的に、人事院が国会と内閣に必要な見直しを求める制度。原則毎年実施。

ラスパイレス指数とは？

国家公務員の給料月額を100とした場合の給料月額の割合。

議案 第72号

教育委員会委員の任命について

全会一致で可決

末續慎吾氏の任期満了（令和7年2月16日）に伴い、新たに令和7年2月17日から令和11年2月16日までを任期とするもので、委員として、櫻田京子氏を任命するものです。

問 教育委員として選んだ理由は。

答 大磯在住で英語教育に実績があり、子どもたちのために役立てていただきたい。

問 ご本人の抱負等は。

答 正式にコメントを頂いてないが、幼稚園からの英語教育が大事で、小さい頃からの英語教育を充実させたいとのこと。

人事案件

教育委員会委員

櫻田（さくらだ） 京子（きょうこ） 氏

（63歳・大磯町大磯）

議案 第78号

損害賠償の額を定めることについて

全会一致で可決

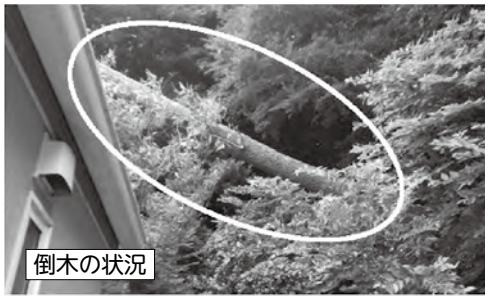
町が管理する高麗山緑地内の樹木1本が個人所有の居住用家屋に向かって倒れ、枝の一部により当該家屋の屋根が破損した。当該事故に係る相手方への損害賠償金として、居住用家屋の修繕費用相当額を町が負担するものです。

倒木による損害事故

令和6年7月9日

損害額

497万2352円



倒木の状況

問 修繕はいつ完了したのか。

答 令和6年11月14日に完了した。

問 修繕後に何か発生した場合、担保期間はあるのか。

答 今回の修繕で賠償は全て終了する内容の示談書となっている。もし万一不測の事態が生じた場合、十分状況を確認した中で対応を検討する。

問 倒木した周辺の樹木の安全確認は。

答 事故発生したときに目視点検した中で、倒木の恐れのある樹木については対応した。また周辺樹木約180本の健全度調査をした中で、さらなる危険な樹木があれば対応する。

問 倒木の原因は。

答 樹木の重量を支えるだけの根が少なかったこと、根が腐っていたことが主な原因である。

問 損害賠償額の積算根拠は。

答 修繕内容は屋根の補修、修繕、防水工事などである。修繕に当たっては所有者が依頼した業者が出した見積書を保険会社の鑑定士が被害状況を確認し、妥当であると認定したものである。

みなさんの陳情はこうなりました。

番号	件　名	提出者	要　旨	付託委員会	委員会の意見・結果
第10号	安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める陳情	神奈川県医療労働組合連合会 執行委員長 古岡孝広	平常時から、必要な人員体制の確保を国の責任で行い、対策の必要となる公立・公的病院や保健所の拡充などの機能強化を強く求める意見書の提出を求める。	—	**机上配布**
第11号	政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める陳情	神奈川県医療労働組合連合会 執行委員長 古岡孝広	ケア労働者が差別なく処遇改善につながる施策を、再度実行性を伴う形で実施すべき。医療・介護施設への経済的援助の拡充も必要。診療報酬・介護報酬・障害福祉報酬の抜本的な引き上げと同時に、患者・利用者負担軽減策を求める意見書の提出を求める。	—	**机上配布**
第12号	介護保険制度の抜本改善、介護従事者の処遇改善を求める陳情	神奈川県医療労働組合連合会 執行委員長 古岡孝広	訪問介護の報酬が引き下げられ、小規模の訪問介護事業所が廃業に追い込まれる事態が生じている。社会保障費の増、介護保険国庫負担引き上げ、制度の抜本改善、介護従事者の大幅な処遇改善と増員を求める意見書の提出を求める。	福祉文教	少子高齢化や独居の増加を考えたとき、社会保障費を増やしていくことは必要である。現場の声として上がってきている要望を議会として伝えていくべき。 **採択（賛成多数）**
第13号	臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情	一般社団法人 中国における 臓器移植を考える会 代表　丸山治章	国際社会と足並みを揃え、臓器移植に関する不正な臓器取引、移植目的の渡航等を防止するための法整備と適切な臓器移植が行われる必要性について啓発を求める意見書を国へ提出することについて求める。	—	**机上配布**
第14号	国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	神奈川私学助成をすすめる会 代表　長谷川正利	国に対し、地方自治法第99条に基づき「公私の学費格差をさらに改善しすべての子どもたちに学ぶ権利を保障するため、私学助成の一層の増額を要望する」意見書の提出を求める。	福祉文教	全ての子どもたちの学ぶ権利を保障するため、それぞれに合った場所で学ぶことができる選択肢として私立高校は必要と考える。 **採択（賛成多数）**
第15号	神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	神奈川私学助成をすすめる会 代表　長谷川正利	県に対し、地方自治法第99条に基づき「令和7年度予算において私学助成の拡充を求める」意見書の提出を求める。	福祉文教	県であれ、国であれ、自治体であれ応援していかないと子どもがますます少なくなると心配している。 **採択（賛成多数）**
第16号	女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書の提出を求める陳情	女性差別撤廃条約実現アクション 神奈川 代表　湯山薫	女性差別撤廃条約の履行状況を審査する女性差別撤廃委員会は2024年10月29日、日本の女性政策について「最終見解」を示した。国に女性差別撤廃条約選択議定書の早期批准を求める意見書の提出を求める。	—	**机上配布**

※机上配布：議会運営委員会での協議の結果、審査除外と決定し、所管の常任委員会へ付託しないとしたもの。
どなたでも陳情書や請願書（議員の紹介が必要）を議会に提出することができます。詳しくは議会事務局にお問合せください。

意見書案が賛成少数で否決されました。

清田 文雄議員ほか4名から提出

意見書案第3号

全文はこちら

介護保険制度の改善、介護従事者の処遇改善を求める意見書

意見書案第4号

全文はこちら

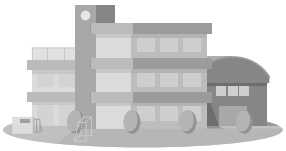
国に私学助成の拡充を求める意見書

意見書案第5号

全文はこちら

神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書

閉会中の調査報告



12月定例会の閉会中の所管事務の調査として、総務建設常任委員会、福祉文教常任委員会それぞれにおいて調査を行いました。

総務建設常任委員会「台風10号時の情報提供は適切だったか」

令和6年8月29日～9月1日、大雨をもたらした台風10号への対応を検証し、今後に生かすため、11月8日に常任委員会を開きました。

全般状況について

①警報・注意報の発表状況
②全体降雨量（438.5㎜）
③被害の状況（人的被害なし・床上浸水4件・床下浸水4件・土砂崩れ13件（※民地含まず）・停電約55件）
④災害対策に係る時系列の事項（町民への配信状況・避難所開設関連など）

これらの資料をもとに質疑を行った。

委員会の意見

○自主防災は機能して訓練の結果が出たと思うが、さらに問題点を抽出して課題に入れ対策を。
○MCA無線の対応を迅速にできるよう対策を。
○あらゆる状況を想定し対応するために、議論を重ねてほしい。特に富士見地区は土砂崩れが起きやすい地域である。
○民地の被害について、町もできるだけ支援を。
○雨が強い時に防災行政無線が聞き取りにくいので、早く対策を。
○避難が必要な方が安全に避難するための伝達方法をしっかり構築してほしい。
○避難指示があり土砂崩れが起きた地区だが、混乱の無い情報提供を。
○情報提供を町民全体にくまなく行き届くように工夫を重ねてほしい。

担当者から、意見を生かしていく旨、答弁があった。

福祉文教常任委員会「学校教育施設の整備」

令和5年12月議会定例会補正予算案において、大磯中学校建替え事業に伴うアドバイザリー業務委託を計上し、大磯中学校を更地にして一体的に整備するという提案があり、議会はこの予算を否決しました。

調査の目的は、来年度予算編成をにらみ、その後の公共施設整備計画に基づく学校教育施設整備について、また自校方式に決定している中学校給食について町の考え、進捗状況について調査するもので、11月18日に委員会を開きました。

調査の経緯

昨年の町の提案について、議会は「あまりにも唐突であり説明不足」として全会一致で反対し予算案から削除しました。福祉文教常任委員会としては校舎建替えを含めた学校教育施設整備・改修は早急にすべきと考え、町の考えを聞いた。

委員会での質疑

問 **否決されたアドバイザリー業務の方向性は、現時点ではどのように考えているのか。**

答 調査結果を踏まえて、どういった建替え、長寿命化計画ができるのか、イメージした委託であったが現時点では大磯中学校の建替えがいつできるのか見通しがつかないので、アドバイザリー業務委託の部分も休止している状況。

問 **一般質問のなかでも学校給食のことについて、給食センターも検討しているがのごとく答弁をされたが。**

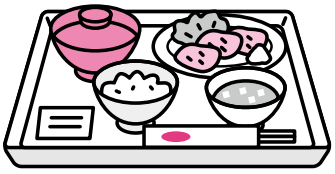
答 これから校舎を壊すのなら、親子方式、自校方式も含めいろいろなプランが考えられるということ、給食センターを建てるということではなくいろいろな方式を前に進めるために検討が必要であると答弁した。

問 **議会に否決されたから止まっているのではなく、どのようなところで議論し、何か意見は出たのか。**

答 議会に否決されたから止まっているのではない。基本構想は否決されたが、長寿命化に変更はない。この構想・計画について、常にオープンにしている。

委員会のまとめ

調査では、町がどのように検討しているのか内容が見えなかった。更に一般質問や町との意見交換をしながら調査をしていきたい。



議員視察

総務建設常任委員会 10／9～10
ゼロカーボンシティ先進自治体へ

千葉県匝瑳市　広大な農地をもつ同市ではソーラーシェアリング、バイオマスボイラー、メタンガス軽減対策等の事業を展開。人口3万人、大磯町と同規模ですが、熱意ある地域のキーパーソンと共に着実に事業を進める行政の意気込みを感じました。また小学校区で進められている地域計画は良きコミュニティづくりにもつながりそうです。

埼玉県所沢市　令和5年4月施行の「脱炭素社会を実現するための条例」は、市、事業者、市民がそれぞれ取組むべき責務を規定し、実施計画となる「まちごとエコタウン推進計画」は、無作為抽出で選ばれた50名による「市民会議」の結果が反映されています。市長のリーダーシップのもと二〇五〇年までのロードマップに沿って進められており、参考になります。

神奈川県町村議会議長会
自治功労者表彰式・町村議会議員研修会

11月19日、大井町で開催された自治功労者表彰式・町村議会議員研修会に議員14名で参加してきました。

町政を左右する重大案件、議会内部で意見が割れている／議会と民意がずれている場合等に市民会議が有効だという。

自治功労者表彰式では、11年以上議員を務められた10名の方が表彰されました（※大磯町に該当議員はおりません）。

議員研修会では、愛知県常滑市副市長の山田朝夫氏より「流しの公務員『共創』の流儀」と題して、「市民会議」という市民と行政の共創のあり方についてお話をお聞きしました。

市民とともに取り組んだ「ゴミ減量対策」「市民病院立直し」「市庁舎建替え」の話題に、多くの参加者が前のめりになって耳を傾けていました。ここでの学びを今後の議会活動に生かしていきたいと思います。

議運小委員会

よりよい議会を目指して
3ワーキングチームが議会改革へ向け稼働中

令和5年12月より議会運営委員会に3つのチームが発足し、議会改革に向けて協議検討を進めています。

試験運用開始

ICT　**ICT化の取組み**
（清田文雄、鈴木たまよ、おかみゆき、毛利泰輔）
1. 情報共有アプリLINEワークスの導入
2. タブレット端末導入ほか新庁舎整備に必要なICT環境整備
（ア）議会資料等のペーパーレス化
（イ）オンライン会議環境整備
（ウ）本会議の公開方法（CATV、ネット）

防災　**災害時における議会対応**
（石川則男、髙橋英俊、竹内恵美子、玉虫志保実、橋本秀彦）
1. 議会と議員の情報収集・情報提供の方法
2. 議員の地域への支援方法（担当地域・方法等）
3. 「災害対策会議」の取決め

広報広聴　**町民意見をさらに聞くための取組み／議会報告会のあり方検討**
（二宮加寿子、鈴木京子、庄子幸太、亀倉弘美）
1. 親しみやすいサブタイトルの策定
2. 議会からも団体等へ出向くスタイルも
3. 身近な課題や町の施策についての意見交換

広聴

一般会議を開催しました

日　時　令和6年11月6日(水)　午前10時から
場　所　本庁舎4階 第1委員会室
申請団体　「はぐの会」代表 佐藤勝栄氏ほか1名
開催趣旨　誰でもわかる町と社協の地域福祉活動～「地域福祉推進委員会」と「通いの場」～について意見交換を行いました。
所管委員会　福祉文教常任委員会（議長含め8名参加）

当日の進行

出席者の自己紹介
テーマの趣旨説明
質疑応答
まとめ

趣旨説明

以前より社協（大磯町社会福祉協議会）については問題がいろいろあり、「はぐの会」では、この町の「町と社協の意思疎通・連携」が不十分で、町のリードが足りないと感じてきた。

そこで、町が初めて作成することになった「地域福祉計画」と、社協がこれまで作成してきた「地域福祉活動計画」を一体的なものと位置づけ「策定委員会」を一つにして進めていくべきと町に申し入れてきた。この申し入れに対し池田町長は「了」との意向を示したが、昨年12月、社協の地域福祉活動計画策定委員会では活動計画（素案）が示されただけで、策定委員会設置要綱には、作業委員会が設置されると書いていたが、町が作業委員会に加わるのかもはっきりせず、このままでは町の「地域福祉計画」も社協の「福祉活動計画」も地域に密着した具体的な計画実行がなおざりになり、絵に描いた餅になりかねないと思い会議を申し入れた。

質疑応答

議会　**活動計画と福祉計画を一体にという要望に対して、池田町長が了承されたのに、策定要領に盛り込まれなかったのか。**

はぐ　町の説明では、計画作成が県内で一番遅れているから、早急に作るよう国や県の指導もあり、町で進めている方向で了解してほしいとのこと。

議会　**確かに社協と町が一諸になってやるべきと思うが、何故、出来ないのかについての感想は。**

はぐ　今の大磯町は、社協と町が別々に動いていると感じる。以前はもっと地域に根差した活動が出来ていたと思うが、「通いの場」の普及を見据えて、議会の皆さんにも一緒に考えてほしい。

まとめ

地区の方も高齢化して自治会、民生委員のなり手不足、子ども会、婦人会も解散等、各地区でも非常に危機感を持っている。

このような危機感を持って、お互いに議論してくべきと思う。

一般会議とは？

町民の方と議員が、町政に関することや、町の重要な事項などについて、建設的に自由な意見や情報の交換を行うために開催するもので、町内で活動されている団体などがテーマを定め申請することができます。

一般会議の疑問をカイセツします！

どんなことを話し合うの？

Ⓐ 次のいずれかについてです。
1. 町政に関すること
2. 町議会に関すること
3. 町の重要な事項に関すること

会議の結果はどうなるの？

Ⓐ 会議の記録は町議会ホームページで公表されます。また、町政に対する重要なものは、町長に報告されることもあります。

どうすれば開催できるの？

Ⓐ 原則として、町内で活動している団体などが、テーマを定めて申込みを行い、必要と認めたときに開催されます。

議会から誰が参加するの？

Ⓐ 申込みされたテーマから、議会で出席者を協議して決めます。各委員会メンバーで対応することが多いです。

※団体や個人の要望を受けるための意見交換ではありません。

町政のここが聞きたい

一般質問

いじめ問題は？
農地法違反の問題は？
グリーンインフラは？
中間支援団体の支援は？
産後ドゥーラとの連携は？
人力車観光は？
消防団への寄附は？
町内会の活性化は？
議員のＳＮＳ投稿は？
学校のトイレの洋式化は？
雨水計画の今後は？
デジタルメディアの活用は？

12月５日・６日に13人の議員から23問ありました。

質問と答弁の内容を要約してお知らせします。
詳細は会議録・ホームページ・DVD（図書館貸出）をご利用ください。

【文責は本人】

社会実験による人力車観光ツアー

十分に協議を行う

おか みゆき

問 素晴らしい社会実験の人力車を湘南乃海関応援の大相撲観戦ツアーのように、町の観光ツアーに組み込んでみては。

答 何らかの形で乗車していただき体験を得るのは貴重。大磯らしい潤いづくり協議会などで協議を行う。

○大磯式部活動について

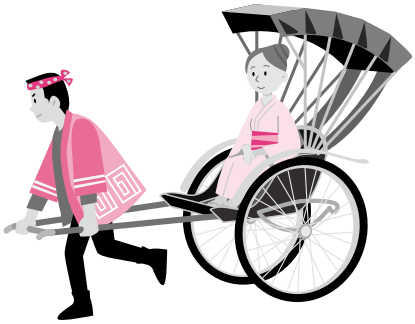
問 部活動の現状と課題について伺う。

教育長 持続可能な運営のため、財源の確保については町費だけに頼らず、各種補助金や企業との連携による支援を活用することが必要である。

問 行政の負担を軽減し、地域やその他の主体を巻き込んだ施策が求められる。例えば、ふるさと納税を活用して寄附を募る方法が考えられる。核となるのが民間企業なのか、もしくは個人なのか、大磯に関心を持つ方、大磯で生まれ育った方、または大磯というブランドを活用した施策によって教育と地域創生を結びつけるイノベーションを生み出すことが重要だ。

以上を踏まえ、ふるさと納税を活用した財源確保について、検討する余地はあるのか。

答 十分にある。地方財政法の規定も注視する。


話題になった人力車

グリーンインフラ活用 町の考えは

促進していきたい

問 自然環境が有する多様な機能を活用したグリーンインフラの取組みを国も推進している。自然豊かな大磯でも町民レベルでできるグリーンインフラを呼びかけ、町全体で暮らしを守る防災・減災に取り組む必要性があると考えるがいかがか。

町長 大磯町は町域の約65％を丘陵地帯が占めており、緑豊かな自然環境を有している。古くから一次産業の生業の場所として使用された里山も、近年は担い手がいなくなり、人の手が入らなくなったことにより荒れた森林、農地が増加している。

こうした状況からグリーンインフラの活用は防災・減災に重要な手法と捉えているが、町民レベルの取組みが大きな役割を担うものと考えている。

また町民がグリーンインフラへ取り組むためのきっかけづくりとして、令和3年度から6年度にかけて日常生活の中で森林や緑地の環境改善の仕方を学ぶことができる講習会を開催してきた。今後も個人の日常の中での実践や地域活動における主体的な取組みを促進していきたいと考えている。

その他の質問

○事前復興計画について

雨水が浸透する農道

行政と町内会（自治会）の在り方

力合わせる取組み重要

問 町内会（自治会）の活性化に向けた取組みは。

町長 財政的支援と自治会加入促進に取り組む。

問 行政側が取組むこと、自治会側への要望は。

町長 区長連絡協議会の自主性尊重・情報共有・支援と行政のパートナーとして協力して頂きたい。

問 地区人口差が約30倍あるが自主防災会への交付金3万3500円の活動内容は把握しているか。

答 危機管理課管轄の交付金で26地区一律、最低限の固定費用で、新規購入品は把握していない。

問 交付金を町民協働係は知っているか。

答 把握しきれていない。

問 区長連絡協議会に人口の少ない地区はグループ化等を要望すべきでは。

答 各地区の自主性を尊重し、相談に応じて対応。

○介護保険「通いの場」

問 介護保険料が県内で大磯町が最低の理由は。

答 令和5年以前の介護サービス利用が少ない為。

問 1件当たり、4万8000円の交付金だが、現状の件数は。

答 現状4地区、相談中4件、合計12件の予算。

問 24地区で人口30倍・活動数で差が有るが、不公平では。

答 各地区一件を目指す。

各部門からの情報により（毛利）作成　（ヒヤリングなど調査中含む）

地区名（24）	人口 R4/4	行政と連携（約45項目＋α） 民生委員児童委員推薦人	地域福祉推進委員会	[illegible]	ゴミ集積場所管理	街灯・ミラー	学校行事参加	消防分団連携	自主防災会	地区の団体・行事 老人会	子ども会	青年会	防犯活動	文化祭	盆踊り	地域のお祭り他	通いの場
高麗	2,756	3(-1)	11	△	○	○	○	①	○				△	○	○	◎	
東町	1,859	2	15	△	○	○	○		○				○		○	◎	○
長者町	1,357	2	○6	△	○	○	○	②	○	○	○		△		○	◎	
山王町	2,054	3	○15	△	○	○	○		○	○	○		△	○	○	◎	
神明町	793	2	○8	△	○	○	○		○		○		△		○	◎	
北本町	265	1	7	△	○	○	○		○				△			◎	
北下町	591	2	18	△	○	○	○		○				△			◎	
南本町	257	1	○13	△	○	○	○	⑪	○				△			◎	
南下町	396	1	○9	△	○	○	○		○	○			△			◎	
茶屋町	431	1	9	△	○	○	○		○		○		△			◎	
複道	104	1	○ー	△	○	○	○		○				△			○	○会館
台町	3,268	5(-1)	10	○	○	○	○	③	○	○	○		△		○	○	
西小磯東	2,965	4	○12	△	○	○	○	④	○	○	○		△	R6		○	
西小磯西	1,460	2	5	△	○	○	○		○		○		△	無し		○	
中丸	2,671	4	22	△	○	○	○	⑤	○	○			○	○	○	◎	△
馬場	3,050	4	19	△	○	○	○		○	○	○	○	○	○茶	○	◎	○
国府新宿	3,311	5	○ー	△	○	○	○	⑥	◎	○2		△	△	○	○	◎	○
月京	686	1	9	△	○	○	○	⑫	○	○	○		△	○	○	◎	△
生沢	1,464	2	24	△	○	○	○	⑦	◎	○			△	○茶	○	◎	
寺坂	307	1	○17	△	○	○	○	⑧	○		○		△	○	○	◎	△
虫窪	317	1	○5	△	○	○	○	⑨	○				△	中止	○	◎	
黒岩	182	1	○ー	△	○	○	○	⑩	○				△		○	◎	
西久保	132	1	○8	△	○	○	○		○				△			○	
石神台	1,680	2(-1)	○16	○	○	○	○	⑫	○				○	○		○	△
合計	32,356		○は区長等が担当					12	26	11	10	2	24	9	14	24	4＋

行政と町内会（自治会）

町内会の区長へのサポートは

地区運営費を協議中

竹内 恵美子

問 区長同士の意見交換会は。

答 区長連絡協議会の定例会で、年6回。年1回の意見交換会や研修会を年8回程度開催。

問 自治会へ加入していない人は。

町長 町では把握していない。

問 各地区の公民館の利用率は。

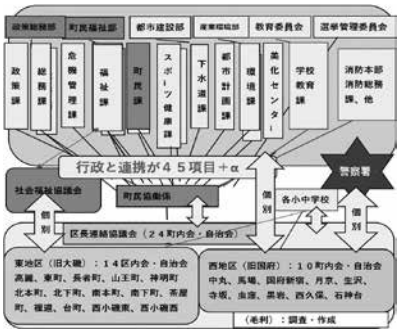
町長 地域施設は25施設ある。全施設平均144日利用。利用率は39.3%。

問 各地区の運営費、活動費は十分か。

町長 各地区の交通安全、防犯、健康増進等の事業に地区運営費交付金と区長皆さんの基礎的な活動支援のための地区活動費交付金がある。物価高騰、デジタル化に対しての経費が大きくなっているため、運営費や活動費の在り方は協議、意見交換中である。

問 町から、各区長への依頼項目が45項目あり、人口には関係なく一律年間10万円、地区運営費は人口割、年間396万円。民生・児童委員は年間6万2千円。地域コーディネーターの予算は年間48万円だが。

答 地区区長の交付金は平成23年から変わっていない。



行政機能と町内会（自治会）

デジタルメディアの広報戦略は

トレンド注視創意工夫

亀倉 弘美

問 ウェブサイトの更新はどうしているのか。

答 平成25年度よりCMSを導入、全職員が更新できる。

問 ライフシーンから探すと、テーマが部署をまたがっている場合は特に探しづらい。町民にとって使い勝手が悪いという問題は認識しているか。

答 情報が深い階層に入り込んでしまっており、改善の余地がある。ユーザー目線を第一に更新するようにしていきたい。

問 チャットボットの導入は考えているか。

答 町民が時間や場所にとらわれずに情報を得られることに加え、職員の負担軽減にもつながる。ただ、シナリオ構築に時間と労力を要するので、スモールスタートで導入を検討したい。

問 デジタルメディアを活用したシティプロモーション戦略は。

町長 SNSや動画を用いた情報・魅力発信は重要性が増している。人口減少対策にも有効であることから、町イベントや四季折々の風景など効果的な情報発信を行っていく。また、SNS利用層に近い職員の意見や社会のトレンドも注視して創意工夫していく。

大磯町のInstagramアカウント
@oiso_town_official

いじめ重大事態の早期解決を

町の対応に問題はない

清田 文雄

問 **昨年4月に発生した、大磯町立小学校のいじめ重大事態について、調査結果の公表が大幅に遅れている、町の対応に問題があると思われるが。**

町長 被害児童保護者の要望に丁寧に答えながら調査を進めている、町の対応に問題はない。

問 **8月20日に被害児童保護者より送付された書面を読まれたか。**

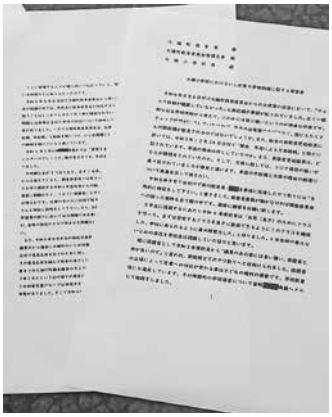
町長 読んでいる、保護者のご要望にお応えするため、いじめ一一〇番、こどもをいじめから守る条例策定の準備を進めている。

問 **要望以前に当時の学校現場、教育委員会の不適切な対応、現職町議の忖度にも触れられていたが。**

町長 ご要望の中にある事実関係については、第三者委員会で調査まとめているので現時点の答弁は差し控える。

問 **書面の中で、現職町議が、現在も公職中の加害児童保護者に忖度するような発言・行動があったということについて町長の考えは。**

町長 第三者委員会で調査がまとまってから、自分としての行動を考えたいと思っているということを申し上げておきたい。


被害児童保護者からの要望書

国府本郷の農地造成問題はないか

法的措置を取っていく

鈴木 京子

問 **国府本郷マリア道沿いの農地は手続きされているものの、農地として不適切な状況にあるのでは。農地を守る方策は。**

町長 町の農業委員会が農地法第3条の許可を出し、農地転用の第5条においては農業委員会の意見を受け、神奈川県が審査し許可を出している。面積は約4700㎡である。

問題は、今年6月に許可以外のところで土砂が埋められていることがわかり、県に報告。県では農地法違反であることを事業者に伝えたが、再三の是正指導に従わなかったため、是正工事の勧告を行った。

引き続き現地確認をし、県と連携、情報共有する。

問 **県にしっかり対応してもらわなければならないことはわかった。**

土壌に細かいコンクリート片があるが、農地にふさわしくないのでは。

答 第三種建設発生土である。県で許可されているが、農業委員会では造成後の営農に注視していく。

問 **マリア道の部分に土が入れられているが、町の認識は。**

町長 憂慮している。法的措置を取る決意で臨む。

違法造成農地沿いのマリア道

授業風景を撮影し投稿しているが

無許可で撮影は不適当

玉虫 志保実

問 大磯町立の小中学校の児童生徒の保護者である議員が、一保護者として町立の小中学校の授業の補助、お手伝いに入り、その授業風景や学校の敷地内の様子を撮影し、SNSに投稿していることを教育長はご存知か。

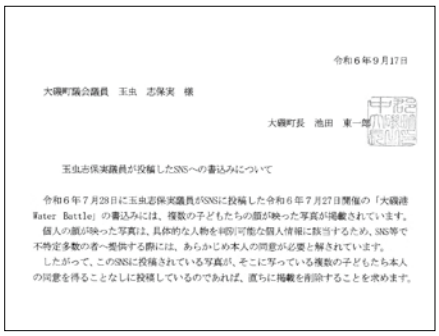
教育長 承知していない。

問 この議員はSNSに投稿の際に、「#（ハッシュタグ）大磯町議会議員」というのをつけている点において、授業の手伝いをすることを自身の政治活動に利用していると考えられるが、その点についての教育委員会の見解を伺う。

教育長 その前に、議員が許可なしに学校の教育現場に入って、許可なしに撮影をすることは適当でないと私は思う。

問 議員の行動については議会内で検討すべきと思うが、教育現場に政治が持ち込まれないように、議員等の政治活動に利用されないように注意を払って欲しい。また、忖度なく、全ての議員に公平な対応を教育委員会も町もお願いしたいと思う。

答 状況が把握できていないので、状況を確認してからお答えさせていただきたいと思う。


令和6年9月17日

大磯町議会議員　玉虫　志保実　様

大磯町長　池田　東一郎

玉虫志保実議員が投稿したSNSへの書込みについて

令和6年7月28日に玉虫志保実議員がSNSに投稿した令和6年7月27日開催の「大磯港Water Battle」の書込みには、複数の子どもたちの顔が映った写真が掲載されています。
個人の顔が映った写真は、具体的な人物を同定可能な個人情報に該当するため、SNS等で不特定多数の者へ提供する際には、あらかじめ本人の同意が必要と解されています。
したがって、このSNSに投稿されている写真が、そこに写っている複数の子どもたち本人の同意を得ることなしに投稿しているのであれば、直ちに掲載を削除することを求めます。

町から議員玉虫に郵送された文書

学校トイレの洋式化計画は

来年度以降に進める

橋本 秀彦

問 大磯町立の小中学校ごとの和式、洋式トイレの数は。

教育長 大磯小学校は和式が14個、洋式が63個、国府小学校では和式が22個、洋式が42個、大磯中学校は和式が40個、洋式が34個、国府中学校は和式が12個、洋式が35個になる。

問 学校施設のトイレの現状について、児童及び生徒の声は町に届いているか。

答 児童や生徒から直接伺っていない。保護者の方などからは、改修を求める要望等が届いている学校もある。

問 児童生徒の声を聞く機会はあるか。

答 児童生徒の声というのは非常に重要だと考える。今後は十分に聞いていきたい。

問 今後の和式トイレの存続については。

答 一定数の和式便器は必要と考える。

問 学校トイレの洋式化計画はあるか。

教育長 大磯中学校は建替えや長寿命化改修と併せて実施する考えにある。また、大磯小学校については、全面的な改修に向け、令和7年度以降に進めていく。

中間支援団体を検討する可能性は

連携や支援の必要ある

庄子 幸太

問 **地区まちづくり計画など、土地利用の制限が与える転入者への影響は。**

町長 住みたい、住み続けたいと思える実現のため、規制型から活用型への意識転換や社会情勢への適用力が重要となる。

問 **総合計画における土地利用を踏まえ評価は。**

町長 地域特性を活かした土地利用の推進を図るため、富士見地区や西小磯地区から寄せられている地区計画へのご相談に対応・検討している。

問 **地区計画は法定計画なので、規制の中で地区の要望とすり合わせ丁寧な議論をお願いしたい。それとは別に、行政主導ではない中間支援団体があると、存続に課題を持つ地区グループにはありがたいと考えるが支援の可能性はあるか。**

答 中間支援団体が立ちあがり、行政が行うべきことの一端を担っていただけるなら、町としても連携や支援の必要があると認識している。

問 **この官民の動きに学を取入れては。大磯をフィールドワークに研究している大学もあり、まちづくりに活かしては。**

答 国でも事例の紹介などあるので、どのような支援が必要か研究したい。

規制型から活用型へのまちづくり

忖度の疑いである

忖度の根拠とは？

髙橋 英俊

問 **被害者の指摘で謝罪をしたり確認のもれがあったり等が続いている状況を承知されているか。**

町長 何かいろいろおっしゃっていたが、なるべく状況は教育委員会からヒアリングを随時している。忖度の根拠は。

問 **忖度の疑いである。被害児童の保護者も含めて、我々は様々な資料を持っている。**

町長 名誉毀損と刑法で定められている。疑いがあれば、その疑いの根拠を示してほしい。

問 **ただいじめ条例を作ればよいのではない。今回の問題について結論を出すべきではないか。**

町長 議員の考えとは異なる。条例を制定することはよいという判断。

問 **再度資料が違っている。新たな事実が出た場合にはどのように責任を取るつもりか。**

教育長 私自身の任期にも限りがある。出来ることの全てで責任を取りたいと思う。

○雨水計画について

問 **雨水計画の現状と今後の対策は。**

答 施設整備に加え、内水浸水想定区域図の作成等、新たな対策にも取組み、道路冠水の軽減と町民の安全安心を目指す。

大磯町立小学校

学校は組織的な対応をしていたか

組織的な対応していた

石川 則男

問 令和3年4月、今までずっとトラブルのあった児童と同じクラスになった途端トラブルが起きた。それが組織的対応か。

教育長 教育委員会では当時の校長から組織的な対応を取っていたと聞いている。

問 同じクラスになって1か月も経たないうちにトラブルを起こしたということは、情報が共有化されていないということではないか。

答 情報はしっかり引き継いだ中で学校それぞれ取り組んでいると思う。

問 被害児童は暴力を受けて学校に行くのが怖いという気持ちがあると担任がレポートしているが。

答 結果的には引継ぎの情報共有が足りなかった。

問 被害児童は謝ってほしいのではなくもう二度といじめをしないと約束してくれれば大磯に帰りたい。それすら約束がなく、被害児童は大磯町立中学校には行けなかった。

教育長 二度とそういうことがないように取り組んでいる。

○消防団への寄附は

問 消防団へ寄附をするのは条例違反か。

町長 次の議会までに町役場の中で調査をして考え方をまとめる。

大磯町立小学校

産後ドゥーラとの連携の考えは

支援の充実を進める

二宮 加寿子

問 産前産後の支援は。

町長 産後ケアは、平成30年度から実施。

問 プレコンセプションケアの取組は。

答 町のホームページでは、国立生育医療研究センターが作成した健康チェックのためプレコンチェックシートや県のプレコンケア相談事業の周知を行っている。今後は、高校生や大学生など若い世代に向けたリーフレット配布やSNSを活用、周知啓発活動に取組んでいきたい。

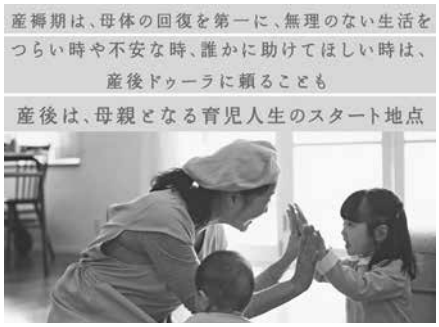
問 令和4年度の児童福祉法改正の中で、子育て世帯訪問支援事業が事業化され、訪問支援のモデル事業となった産後ドゥーラとの連携の考えは。

答 産後ドゥーラは平塚市と茅ヶ崎市で産前産後ヘルパー事業の委託先としており、町も産後ドゥーラも含め支援の充実を進めていきたい。

○居場所づくりについて

問 放課後児童クラブ（学童保育）をはじめとする居場所作りについて安心して過ごせる場所を確保して欲しいが如何か。

答 現在、策定作業を進めている大磯町こども計画、学童保育を含む放課後児童対策の充実を位置づける方向で進める。



出典：一般社団法人産後ドゥーラ協会HP
産後ドゥーラの必要性

議案に対する各議員の賛否結果一覧表

議案はこちら

議案番号	議案 ＼ 議員名（議席順）	二宮加寿子	橋本秀彦	鈴木たまよ	亀倉弘美	玉虫志保実	竹内恵美子	鈴木京子	石川則男	清田文雄	髙橋英俊	毛利泰輔	おかみゆき	庄子幸太	吉川重雄	結果	掲載ページ
61	専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	3
62	専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	
63	専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	
64	専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	
65	専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	
66	大磯町部設置条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	●	●	●	●	●	●	○	●	○	—	否決	4
67	大磯町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	—	可決	2
68	大磯町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	8
69	大磯町立幼稚園の教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	
70	大磯町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	
71	大磯町職員の給与の控除に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	
72	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	9
73	令和６年度大磯町一般会計補正予算（第５号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	6・7
74	令和６年度大磯町国民健康保険事業特別会計補正予算（第２号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	
75	令和６年度大磯町後期高齢者医療特別会計補正予算（第２号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	
76	令和６年度大磯町介護保険事業特別会計補正予算（第２号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	
77	令和６年度大磯町下水道事業会計補正予算（第１号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	
78	損害賠償の額を定めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	9
意見書案第３号	介護保険制度の改善、介護従事者の処遇改善を求める意見書	●	●	○	○	○	●	○	○	●	●	●	●	○	—	否決	10
意見書案第４号	国に私学助成の拡充を求める意見書	●	●	○	○	○	●	○	○	●	●	●	●	○	—	否決	
意見書案第５号	神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書	●	●	○	○	○	●	○	○	●	●	●	●	○	—	否決	

○は賛成　●は反対　—は議長が賛否に加わっていない

「議会報告会」開催しました

たくさんのご意見をいただきました！

第２部　テーマ別フリートーク

これまでのご参加者アンケートから、フリートークの時間を増やしてほしいというご要望が多く寄せられたことから、今回はテーマを次の３グループに分け、時間を拡大して活発な意見交換を行いました。

- A　伝わってますか？議会のこと
- B　聞かせてください！防災のこと
- C　あなたにとっての「大磯町」とは

こんなご意見をいただきました。両会場（オンライン含む）からの一部抜粋

A

・議会だよりの賛否結果はよく見る
・地域で陳情したいことがあると地元議員に相談する
・いかに意見を議会に届けてもらえるか、という視点で見ている
・自分から情報収集に行かないと難しいと感じる
・議会や政治に関心が持てないのは、自分には関係ないと思うから
・ざっくばらんに話せる機会があればよいが、わからないままだと「何やってるんだ」となってしまう
・私の町では議会主催の報告会はやっていないので羨ましい

「町がこうなったらいい」とは思うが、それをどうすればよいかわからない。議会に関心をもってもらうためには、町の行事などで活動をアピールする、小学校に議会が出前授業を行う、こども議会などをやってはどうか。‥など、地域とのつながりや積極的な情報発信を望む声が寄せられました。

B

・避難の際は個人情報の管理よりもご近所で助け合うのが望ましい
・三沢川や葛川の堤防高さや支流の考え方など氾濫への課題が多い
・６mの防潮堤が砂で埋まっているなど津波への不安を感じる
・防災面を考えると高層建築が建てられるよう見直してほしい
・台風10号災害で、雨だけでなく土砂災害危険情報がほしかった
・このところの災害で防災行政ナビの情報がありがたかった
・ボランティアセンターのような組織があるとよかった
・避難指示が出た場合を想定した福祉避難所は充実しているのか

災害への備えは続けることが大事。海岸や河川は国や県などが管理していることから、議会から要望をしっかりあげてほしい‥など、災害が身近になっているからこそ、防災計画や避難訓練への率直な感想や地区ごとに異なる河川・津波・土砂などへの対処の難しさの声が寄せられました。

C

・町民のための議会として、議員ともっと話したい
・条例を作るときには町民の意見をもっと取り入れるべき
・人口減少対策について、空き家の活用や移住対策が必要
・国府と大磯が合併して70周年の記念事業は行わないのか

子育て世代が増えているのか、減っているのか数量的なデータで示してほしい‥など、情報が町に活かされることを望む声が寄せられました。

このたび参加された町民の皆さまからお寄せいただいたたくさんのご指摘を今後に活かしていきたいと思います。誠にありがとうございました。

当日ご協力いただいたアンケート結果も含めて、まとめたものを議会ホームページで公開しております。ぜひご覧ください。

第２回 令和６年度 大磯町議会主催

ご参加とご意見をいただき、ありがとうございました！

令和６年度　第２回議会報告会を11月10日(日)保健センター２階研修室（オンライン併用）および11月12日(火)国府支所２階会議室を会場に、両日とも18時～20時の夜開催として行いました。
保健センターには12名、オンライン（Zoom）には２名、国府支所には16名の方にご参加いただきました。
第１部では、９月定例会で審査された令和５年度決算および主な事業の執行状況について報告をしたのち、第２部では、３グループ（＋Zoom）に分かれてテーマ別フリートークを行いましたので一部をご紹介いたします。

第１部　令和５年度決算報告

行政における当初予算と決算の比較では、一般会計における歳入歳出の差額約７億９千万円が次年度へ繰り越すなど、良好な財政指標となったこと、各会計の決算に対する議員の賛否結果など概要を報告しました。
さらに、特に関心の高かった事業として①こども医療費助成の拡充、②小学校給食の無償化、③横溝千鶴子記念障害福祉センターの改修、④明治記念大磯邸園の整備状況、⑤公園リニューアル工事など、各事業の執行状況について、続いて決算特別委員会の審査を通じて各委員が感じた課題や評価を出し合う「ふりかえり」について、その後の討論や町への要望説明を行いました。

決算の詳細はぜひ前号をお読みください

こんなご意見をいただきました。

保健センター会場

問　税務課の徴収努力を評価した理由は。
答　町から「納め忘れ」に対して声掛けを行うことにより、支払った方が増え収納率があがりました。

問　区長は多忙すぎる。なんでも区長に任せるのではなく、多方面の人材を活用し、分散化を図るべき。
答　各地区の負担や協力に見合う交付金の増額を、議会として来年度予算に要望しました。

問　人口減少対策と子どもや保護者の満足度向上を、どのように評価しているか。
答　公園遊具のリニューアル、小学校給食や所得制限のない18歳までの医療費無償化などに対し良かったという声を聞く一方で、子育て世代の増加など数字として報告されるには至っていません。

国府支所会場

問　新庁舎はいつ実現するのか。
答　現在、設計施工を一括発注する業者を募集しているところで、移転完了は令和10年度の予定です。

問　ふるさと納税についての状況は。
答　令和５年度は790件で約3,800万円の寄付があり、令和４年度からは約20％増となっています。

問　旧吉田茂邸の運営事業が年間1,000万円の赤字と聞いたが状況は。
答　収入が少ないため、人件費、光熱水費などの維持管理費をまかなえていない。

問　マイナンバー制度による町職員の業務負担は。
答　国事業に伴う交付の窓口対応を町で行うため負担が大きいです。

議会報告会とは

議会基本条例に基づき、議会報告会を開催しています。議会報告会は、議会の説明責任を果たすため、議会の活動等を町民の皆様にご報告し、町民の皆様からご意見をいただく場として開催するもので、いただいた意見・要望・提言は、議会運営委員会や議員全員協議会等で協議し、町への申し送り、議会でさらに調査・研究を行うなど、内容により政策提言につなげています。

国府支所のようす

表紙の写真

可能性は∞ 無限大

表紙の写真はどちらも大磯プリンスホテルで開催された行事のひとこまです。去る1月13日には、大磯で育った275名の対象者による「新成人記念のつどい」を開催。旧知の友や先生と成長を喜び合う光景が見られました。昨年12月21日の「大磯こどもサミット」では、町内外から約500名が参加し、国際的な視野を育てるSDGs体験、アフリカンダンスなどの企画を町内団体やこどもが協力する形式で開催され、会場は笑顔に包まれていました。

大磯町で育った皆さんの可能性は無限大です。今後のご活躍と、いつか皆さんがこの町で住みたい！子育てをしたい！と思える日が来ることを願った両日でした。

議会スナップ

参加してきました！

令和７年１月17日(金)に葉山町にある地球戦略研究機関（IGES）で開催された「神奈川県町村議会議長会なぎさブロック会議研修会」に参加しました。

議会のうごき

10月

2日 議会だより編集委員会
9日 視察受入れ（岩手県岩手地区議会議長会）
9日 総務建設常任委員会行政視察（～10日）
11日 議会だより編集委員会
15日 総務建設常任委員会協議会
16日 議会運営委員会／議員全員協議会
17日 視察受入れ（長野県原村議会）
21日 議会だより編集委員会
22日 視察受入れ（北海道雨竜町議会）
29日 福祉文教常任委員会協議会

11月

6日 一般会議
8日 総務建設常任委員会／総務建設常任委員会協議会／議員全員協議会
10日 議会報告会
12日 議会報告会
13日 視察受入れ（兵庫県稲美町議会）
14日 視察受入れ（佐賀県白石町議会）
18日 議会運営委員会／議員全員協議会／福祉文教常任委員会
19日 自治功労者表彰式・町村議会議員研修会
22日 議会運営委員会／議会だより編集委員会
28日 12月定例会（議案審議等）

12月

2日 福祉文教常任委員会／議会だより編集委員会
5日 12月定例会（一般質問）
6日 12月定例会（一般質問）
10日 議員全員協議会／議会運営委員会
12日 12月定例会（委員長報告等）
16日 福祉文教常任委員会協議会
25日 議会だより編集委員会

定例会テレビ中継が開会から約1時間、放送できなかったことにつきまして、町民の皆さま、ならびに一般質問の様子を視聴できなかった皆さまにおわび申し上げます。

予算特別委員会（予定）

2月28日(金)
3月3日(月)
4日(火)
5日(水)

予算特別委員会の詳細は、決まり次第、議会ホームページでお知らせします。

3月定例会

2月12日(水)　議案上程等
21日(金)　総括質疑
25日(火)　一般質問
26日(水)　一般質問
3月17日(月)　委員長報告等

湘南ケーブルテレビ
地上デジタルSCN101
チャンネルにて放映

生放送　9時～
再放送　19時～

【編集後記】

昨年は多くの災害に見舞われた一年でした。

大磯町でも台風豪雨で浸水や土砂被害が発生、災害への備えの重要度は年々増しています。

今年が安全で平穏な一年になることを願ってやみませんが、水と食料に加え、トイレの備えもお忘れなくご準備ください。

議会だより編集委員会では、町広報が横書き、左綴じへと変更されたことに伴い、次年度へ向けてより良い紙面づくりを鋭意検討していますので、お楽しみに！

【発行責任者】
議　長　吉川　重雄
【議会だより編集委員会】
委員長　庄子　幸太
副委員長　亀倉　弘美
委　員　橋本　秀彦
石川　則男
毛利　泰輔
おかみゆき
【オブザーバー】
副議長　二宮加寿子

発行／大磯町議会　編集／議会だより編集委員会　〒255-8555　神奈川県中郡大磯町東小磯183　TEL 0463-61-4100（内線281）　FAX 0463-61-1991
ホームページアドレス　https://www.town.oiso.kanagawa.jp/　メールアドレス　gikai@town.oiso.kanagawa.jp